中国国家主席江沢民は なぜ法輪功を弾圧するのか

法輪功は中国の独裁者である国家主席江沢民に弾圧される前、政府が大衆に大いに推薦する気功であった。法輪功及び創始者李洪志先生は政府から数回にわたって賞賛された。伝え始めて八年来、学習した人々に心身ともに大きな変化をもたらした。そのため、人々は直ちに親族や友人へ伝え、法輪功は八年の間に、中国の都市や農村へ遍く伝わり、世界各地の一億人の愛好者を引き付けた。

法輪功の学習者の数がわずか数年間で共産党員の数より多くなり、そのなかには、軍人、警察官、公安、知識人、大学教授など高層階級の人も多く、独裁者江沢民はそれを見て、自分の政権が脅される恐れがあると思い込み、一九九九年四月二十五日以降、他の中央指導者の反対を無視して、独断で理由もなく法輪功を全面的に否定し、更に弾圧に踏み切り、法輪功の修煉者及びその創始者に対する全面的な迫害を開始した。

江沢民による 法輪功人権侵害（97名死亡）

法輪功は江沢民に無理やり一九九九年七月二十二日「非合法組織」と定められ、一九九九年十月に勝手に「邪教」と言われた。それから、江沢民は警察、軍隊、ラジオ、テレビ、工作員などを全面に動員し、天地を覆うように法輪功を迫害している。

修煉を放棄しない人は退職退学させられ、死ぬまで殴打された人も続出している。報道によると、十二月二十日まで、少なくとも既に九十七名の修煉者が致死された。また四万人が非合法的に拘留され、数万人が強制労働収容所に送り込まれ、五百人以上の人が最高十八年間の刑を言い渡された。これらの処分はすべて法律にのっとらず行われている。更に、六百人以上の学習者は精神病院で薬物治療を余儀なくされている。中には新薬の臨床実験の被験者とされた人もいる。

更に法輪功修煉者は言論の自由さえ剥奪された。政府に請願しに行った学習者の殆どはすぐ逮捕され、殴打された。迫害の嵐は中国の都市や農村に波及している。中国では「第二次文化大革命」とも呼ばれている。

しかし、江沢民の反法輪功教育キャーペンは彼が期待した効果を収めなかった。珠海市の関係者は、「この一年、法輪功の修煉者の人数は減少したどころか、増加する傾向が見られた。」と述べた。

それは法輪功修煉者達が自分の実際の修煉を通じて、法輪功はとても良いものであることを分かっているから、いくら迫害されても法輪功を止める訳がない。

法輪功修煉者 虐待され死亡

殴り殺された陳子秀

■五十九歳の陳子秀は今年二月十六日に町を歩いていた時、現地の政府部門に連行され、派出所で拘束されていた。翌日の午後、反法輪功教育講習センターに移された。法輪功の修煉を放棄させるため、当センターの役員はゴム棒、電棒で彼女の足、背中を殴り、刺のある木棒で頭と首を叩いた。二十日早朝、重傷を負った陳子秀は素足で積雪の中を走らせられた。二日間の虐待で彼女の足は酷くうっ血し、髪の毛に膿と血がついていた。彼女は嘔吐し、意識不明になり、無念のうちにこの世を去った。遺体はあざだらけで、歯が折れており、耳が大きく腫れ、青黒い色をしていた。彼女の服、布団と下着に血がいっぱいついていた。

■大学女子講師 殴打され死亡

「英国ＢＢＣ十二月十二日の放送による」

趙昕、女、三十二歳、北京工業商業大学講師。二〇〇〇年六月十九日に公園で法輪功を煉功した際、連行されたが、拘留されていた間に警官に酷く殴打され、第四、五、六節頚椎が骨折し、重体。六ヵ月後の十二月十一日に亡くなった。

修煉者が精神病院で強制的に投薬され死亡

山東省在住の三十二歳の技術者蘇剛は北京に上申しに行ったため、五月二十三日、地元の公安に精神病院に閉じ込められ、その間、毎日神経中枢を破壊する薬物を投与されていたという。親族の人が断食をもって抗議したため、五月三十一日釈放された。しかし、彼は既に記憶を喪失し、動きが鈍く、体が極めて虚弱だった。帰宅後の六月十日に苦しみの中で息をひきとった。

■長期間の拘禁のため、中絶を強要

盧雲珍、女、三十一歳、江西省在住の法輪功学習者。妊娠していたが、北京に上申しに行ったが、連行され、長期間拘禁するため、公安当局は中絶を強要した。

■大学入試の資格を剥奪

ＡＰ通信によると、法輪功の学習者は大学入試に参加できない恐れがあるという。中国政府は今年法輪功の学習者の大学入試への申込みを拒否した。

■外国人記者脅迫

（「明慧」ホームページ）昨年十月二十八日に法輪功側が開いた秘密記者会見を取材した北京駐在の海外報道機関に対して、警察側の厳しく監視する姿勢が見られた。事件にかかわった記者は長時間の事情聴取を受け、謝罪文を書かせられ、更に一時的に取材認可書と在留資格証明書も取り上げられた。

中国の総理 朱熔基氏は法輪功弾圧の中止を命じた

大紀元社十月二十五日特別報道：法輪功問題を如何に対処すべきかについて中国共産党の高層部に従来から意見の食い違いがあった。憲法を踏みにじり、全国範囲に武力をもって法輪功を弾圧したのは全て江沢民の一点張りによるものである。法輪功修煉者の強靭でかつ長期にわたる反発によって、法輪功問題に対する意見の食い違いはますます拡大してきた。最近、法輪功弾圧反対派はその食い違いを表面化した。

大紀元新聞社北京駐在員から情報によると、一昨日朱熔基首相は自ら北京公安局第五課を視察し、法輪功修煉者を困らせないように公安当局に話したという。この情報はすでにいくつかのルートによって証明された。

報道によると、中国共産党高層部に法輪功弾圧を反対したのは総理朱熔基、副総理李瑞環、尉健行、国家副主席胡錦涛、及び既に指導陣から退いた前全国人民代表大会委員長喬石氏などがある。彼らは江沢民の権力への未練を最も猛烈に反対する人達でもある。

英国の高層部は相次いで 法輪功を支持、弾圧を譴責した

最近、英国の高層部は相次いで法輪功への弾圧を譴責し、法輪功を支持する声明文を発行した。

●ノーベル平和賞受賞者が法輪功を支持する表明を発表した

九八年度ノーベル平和賞受賞者ダウェ・トーリンボ氏はこの間法輪功弾圧を反対する声明文に署名し、「国際公約の主旨に基づけば、如何なる個人でも法輪功に対する信奉を表現する自由がある。」「法輪功修煉を堅持したため、修煉者を弾圧した行為を譴責し、我々（英国）の政府、国際人権機構、国連人権委員会の主席マリ・ロビンション女史がこれからも引き続き法輪功修煉者が妨害のない環境でその平和的な活動ができるよう中国政府に呼びかけるようお願い申し上げたい。」と法輪功修煉者が妨害のない環境での活動を認めるよう中国政府に呼びかけた。

ダウェ・トーリンボ氏は英国の北アイルランドにおいて暴力の制止と平和の再建に大いに貢献したことで九八年ノーベル平和賞を受賞した。その後、英国政府に北アイルランドの最高行政長官である北アイルランド第一大臣に任命された。

●英国の元外相、元財政大臣、内政大臣が法輪功弾圧に譴責の意を表した

英国の有名な外交官、元外相のジェフリオ氏、そして元財政大臣および内省大臣が共同で法輪功弾圧に対して譴責の意を表した。

ジェフリオ氏は現在英国の最も人望の高い外交官であり、彼の外交での業績、優れた学識及び表裏一致の人格は世界的に称えられ、慕われている。同氏は署名した声明では「法輪功は完全に平和的な精神運動であり、中華人民共和国に対して脅威を与えることはないと思う」と述べた。

●英国議員及び政府要員は法輪功弾圧を譴責した

英国財政部副部長のスミス氏及び四十数名の英国議員が法輪功弾圧を譴責する声明文に署名した。

上院議員シャルトンナイトは法輪功修煉者宛の書簡にこう述べた。「法輪功が提唱している真・善・忍は人々に感動を与え、社会が更なる高い融和に至らせる価値がある」「この運動（法輪功）は「邪教」と関係のある特徴もなく、政治的な訴求もない。動作と座禅を結合したこの運動は恐らく佛道の教義に深く根ざしたものだろう」

下院議員サイムトームスは「中国大陸の国民が自由に法輪功を修煉した願望を全面的に支持している。長年において何の攪乱も起こしていない運動を禁止するのは中国にとって恥である」と述べた。

●英国の宗教界と学界が法輪功を支持している

二七名の英国宗教界の指導者と学界の知名人が最近法輪功を支持する声明文に署名した。法輪功が平和で、その修煉者の信仰自由が保障されるべきであるという点においてコンセンサスを得、法輪功弾圧に対して譴責の意を表明した。

彼らは特に、「法輪功が中華人民共和国に脅威を講じるどころか、修煉者の道徳と精神状態を高い水準まで促進することができる。中国にポジティブな利益をもたらしている。」と強調した。

法輪功鎮圧の停止を求める決議案を米国議会上、下両院が可決した

米国下院議会が九九年十一月十八日夜に可決した２１８号上下両院の合同決議案（抜粋）：

中華人民共和国政府が法輪功修煉者の信仰を禁止していることに鑑み、

中国政府の法輪功に対する取り締まりが中国の憲法に違反しているばかりでなく、国際公民政治権利条約及び国際人権公約にも背離していることに鑑み、

大量の確実な報道によると、法輪功修練者が拘留中、非人道的な待遇を受け、残酷な虐待を加えられていることに鑑み、

中国が最近邪教厳罰法、つまり国家宣伝機関が意味している「邪教組織、特に法輪功組織への有力な武器」を可決したことに鑑み、

法輪功修煉者が何らの法的な手続きも踏まずに強制労働収容所収監を言い渡されていることに鑑み、

数千万の法輪功修煉者が彼らの信仰を放棄しないため、免職や除籍されていることに鑑み、

中国政府の法輪功に対する残酷な鎮圧が公民の基本権益、すなわち、公民の信仰、言論、結社の自由を有することに違反していることに鑑み、

議会上下両院が本決議案の可決に合意し、正式に以下の要求を提出する。

中国政府は法輪功修煉者への迫害を直ちに中止せよ。

米国政府は全力を挙げ、国連の人権組織を含む政府と民間の機関を通じて、強く以下の事項について中国政府に呼びかけよ。

1. 拘留されているすべての法輪功修煉者を即釈放せよ。彼らに対する非人道的な待遇及び迫害を即刻中止せよ。

2. 中華人民共和国憲法第三十六条の規定に基づき、法輪功修煉者の信仰の自由を回復させよ。

3. 国際公民権益条約及び国際人権公約を全面的に遵守せよ。